

2024年(令和6年)5月22日(水曜日)

## 電波新聞

ケ  
ル

ケルは「CASE」をメガトレンドとした自動車の進化に向け、「高速通信・高耐熱・

耐振動」をテーマとしたコンセプト製品の開発を強化している。同社は、「人どくるまの

は、開発中のPCIe 5.0相当の高速通信対応基板対基板コネクター「JBシリーズ」を紹介する。統合ECU向けに開発を進めている製品で、32<sup>ギ</sup>bps

BC(オンボードチャージャー)向けに開発中の「耐振動と140度耐熱を兼ね備えた基板対基板コネクター」を紹介する。

を展示。「DUSシリーズ」は125度耐熱、16<sup>ギ</sup>bps対応の製品で、ドライブレコーダーやオーバーヘッドコンソールなどで採用されている。

このほか、細線同軸コネクターや、次世代高速要求に対応する24<sup>ギ</sup>bps(PAM4)差動伝送ケーブル用コネクター「HSPシリーズ」(開発中)も披露。ブースでは「熱ソリューション」の動画紹介も行う。

## 高速通信・高耐熱・耐振動をテーマ

テクノロジー展2024 YOKOHAMA A」に初出展し、同社が目指すこれらの車載向け新コンセプトを訴求する。

コネクターは、「DYSシリーズ」「DTシリーズ」、電源端子付き「DTEシリーズ」、シェル付きタイプ「DTSシリーズ」など

の豊富なラインアップ

## JBシリーズ

新規コンセプト品で

新規コンセプト品で

新規コンセプト品で

新規コンセプト品で

新規コンセプト品で